

第118号

2007

Dec.

12

きずな THE KIZUNA

いとご増刊

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

社団法人日本自閉症協会
奈良県支部ニュース

発行人：社団法人日本自閉症協会
石井哲夫
編集人：社団法人日本自閉症協会
奈良支部
支部長&事務局：河村舟二
〒639-1005
大和郡山市矢田山町 84-10
購読料1部 100円
会員は会費に含まれています。

歳晩の候、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、既に「いとご」等でもお知らせしていますが、平成19年9月30日開催された協会本部総会において、組織改革に伴い支部が廃止され、現行の支部が団体加盟会員として別組織に移行することになりました。

このことは、国の公益法人改革と協会会員数が現在16000名を超え、総会に全会員が出席することが現実的に不可能であることと、委任状による議決権の行使も困難であることが主な理由であります。 加えて、社団（公益）法人組織として協会本部と支部が連結決算を昨年度より実施した結果、

組織改革に伴う新組織移行について

地方における支部活動の特色を反映し活かすためには、より実態に則した地域活動を行い、支部と協会本部を別々の組織として、それぞれの優位性を活かす組織への移行を図ったものであります。

これにより、社団法人日本自閉症協会奈良県支部は平成20年度の組織移行（新組織設立は19年度中）を目指し、法人化を視野に入れた（NPO 法人）「奈良県自閉症協会」（仮称）の設立に向け目下準備中であります。新組織は、社団法人日本自閉症協会の奈良県における唯一の加盟組織であり、会員個人資格や会費、活動内容等については従来と変更はありません。 あえて違い

を申し上げますと新組織は主務官庁が奈良県となり、県の指導と監督下におかれ、より厳正な報告が求められることとなります。

従って、特に申し出のない限り会員は新組織の会員として登録させて頂くことになります。

今後は役員一同、会員相互の親睦を図り、情報交換を行うとともに、自閉症に関わる専門家及び関係機関の協力を得て、事業活動を効果的に実施し、自閉症児者が安心して暮らせる基盤整備に努める所存でありますので、ご理解の上、ご賛同ご協力をお願いいたします。

平成19年11月17日

近畿ブロック 各支部 御中

近畿ブロック選出理事

大久保 尚洋

第2回共済事業委員会報告

平成19年11月17日（土）東京で第2回共済事業委員会が開催された。出席者は、石井委員長、石丸副委員長、奥村委員、水野委員、大久保、大平事務局長、ASJ事務局（鈴木和子、横山、鈴木和代）の5名の委員と協会事務局、ASJ事務局で、6名の委任状提出、（計14名中11名）

議題

第1号議案

平成18年度事業報告・決算報告について

第1回共済事業委員会H18.10.21開催の会議報告がされ、責任準備金の適正額と将来の展望とH18年度給付状況等が報告され、承認された。

(詳細は別紙参照)

第2号議案

平成19年度事業内容(案)・予算(案)について

事業計画案については、運営体制等会議開催回数と19年度の加入目標を4150名とすることと推進委員への研修機会持つことなどを意見として推進することを採択された。

予算案については、ASJ事務局職員体制の増員(1名)と事務所移転に伴う人件費の増額と会議費の削減が主なものとして採択された。

(詳細は別紙参照)

第3号議案

平成20年度共済事業掛金・保障内容改定(案)について

入院給付金をすべて2日目から給付と共済掛金を年

額15600円に減額することと1家族2名以上加入の場合、2人目から半額に割り引くことが承認、採択され、救援捜索費用見舞金については、確認手段等不明のため更なる研究を必要とし、給付については見送られた。

意見としては、若い世代の保護者からの要望として共済掛金の一括払いだけでなく、分割払いも導入して欲しいことやO157や感染症担保についても今後導入できないかを提案した。

また、契約内容確認書等説明責任やコンプライアンスについても提言とした。

その他、他共済事業の動向や監督官庁の指導方針等検討され会議を終了した。



平成19年度奈良県発達障害支援センターでいあー第2回連絡協議会(療育分科会)が12月7日(金)14時から奈良市男女共同参画センターあすなら会議室1で行われました。

事業報告として支援状況・実施された研修等の説明があった。就労支援の相談は118件あり3～4件の就労に結びつく成果があったようである。奈良県のこれからの取り組みとして県障害福祉課森川和昭課長補佐の話によると、まず来年度でいあー運営費は、なんとしても減にならないようにしたい。来年度は発達障害者圏域支援体制整備事業(五条市)の成果を引き継ぎ、中和圏で橿原市の「かしの木園」が中心となり支援プログラムを実施したい。また奈良県として療育支援の拠点作りを計画したい。そのための人材養成を行いたい。との話があった。また、現在、国の特別対策の予算を使って、療育支援のパンフレットづくりを計画し、すでに、パンフレットづくりにむけて療育関係機関30～40人で検討会が行われているようです。1月9日に第2回検討会が実施されます。徐々にではありますが自閉症をはじめとする発達障害者への支援の目が奈良県でも向けられるようになってきたことには評価したいと思います。

参加された教育委員会関係には困難を示している20年度初めの西奈良養護学校の開校問題※で、自閉症児は急な状況変更に適応しにくい障害特性がある。このことをきちんと踏まえて、早急に配慮することを希望しておいた。

※奈良西養護学校は富雄高校の校地校舎を活用して20年度開設をめざし、調査設計を18年度から実施していることになっているが、主力業者倒産と談合事件などがあり、計画が頓挫してしまった。予期せぬ事故であり、仕方ないと思われるかも知れないが、自閉症の子どもを持つ親の立場から見ると、成り行き任せの開校は自閉症の障害特性からして、あえて混乱やパニックを誘発させる心配がある。県当局として保護者に成り行きと今後の見通しをきちんと説明しているか。という点で、子どもの教育権を大切にするという視点が奈良県当局にはいささか欠けるのではないかと思う。(河村)

マスコミの報道から：

○JVまた決まらず-奈良西養護学校

奈良市帝塚山西二丁目の旧県立富雄高校跡地に整備が予定されている県立奈良西養護学校の来年4月の開校に向けた校舎改築工事で、5日、主力業者の倒産に伴う再入札が行われ、2共同企業体(JV)が参加したが、

落札業者が低入札だったため、落札保留となった。県教育委員会総務福利課は「低入札についての調査できちんと工事が進められるかどうかを調べる。年内にも工事業者を決めたい」と話している。

奈良西養護学校は、奈良市七条の県立奈良東養護学校の生徒数増加に伴い、県教委が新設を計画。旧富雄高校を改築して、来年4月に開校する予定で、工事期間は来年3月末日までとなっていた。当初は6月に入札があり、その後落札した三者のJVが仕事を進めていたが、主力企業が倒産したため、10月30日に再入札の予定となった。だが、談合情報が入り、県の事情聴取後に、すでに入札申し込みを行った5JVのうち3JVが次々と辞退したため、2JVとなり、3JV以上という規定で入札中止となった。その後も11月20日に再び入札が予定されたが、この時は、入札申し込みの時点で規定数に至らず中止。今回の入札となった… (2007.12.6 奈良新聞)

○ 生徒増加もう限界 - 新設校の工事遅れ・奈良東養護学校

生徒数増加に対応するために進められている県立奈良西養護学校（奈良市帝塚山西二丁目）の校舎改築工事の再入札が二度も中止となり、来年4月の新設開校が危

ぶまれている。これに対し、子どもたちの過密化に悩む奈良市七条町の県立奈良東養護学校の関係者も、いら立ちと不信感を県教育委員会当局や工事関係者などに対してあらわにしている。

現場の教職員や保護者らの懸念は、長年にわたる児童・生徒の過密化解消が進まなかった不信感に加えて、

- (1) しっかりした施工業者によって工事が進められるのかという不信感
- (2) 奈良東養護敷地内から奈良西養護への移転が年度途中で進められる見通しへの不安
- (3) 年度途中の転校が実施された場合の、子どもたちの新たな環境対応への不安
- (4) 年度初めから必要な教室・倉庫の確保の準備に対する不安—などだ…(2007.11.23 奈良新聞)



奈良支部 第3回高機能AS部（仮）準備委員会 前半 2007年11月

＊日時：2007年11月9日（金）10:00～12:00

＊場所：奈良県心身障害者福祉センター（田原本町）

＊参加者：会員7名・見学1名 事務局2名

□概要

前半は、「お互いを知る」「子供の行動を振り返る」。後半は、「会の活動を考える」というテーマに沿って進めた。

高機能AS部会（仮）では、自閉症協会発行の高機能AS部会立ち上げのための小冊子を元に活動を進めています。

＊高機能自閉症&アスペルガー症候群 活動運営マニュアル

<http://www.autism.or.jp/hfasp05/20060320.pdf>

□前半のセッション

その1) 変化型自己紹介

自己紹介カードに記入してもらい、それをランダムに配布。書いてある本人を探して、ペアを作った。「愛する家族に内緒にしていること」というテーマで語り合い、親睦を深めた。

その2) パニックって皆同じなの？

1. 「お子さんはどんな時パニックを起しますか？」
2. 「パニックを起したきっかけは？」
3. 「どうやって対応していますか？」

椅子をサークルにして座り、ペアになった人同士で、お互いの話をじっくり聞きあった。その後、ペアごとにまとめて発表してもらった。パニックのきっかけやその時の様子は、それぞれに違いがあり、ほー、とか、へー！とか、色々な驚きや気づきがあった。その後どのようにしたら解決に向かったか等、経験談をお互い話し、ボードに書き留めて皆で眺めた。

□感想：

皆さんのお話を聞かせてもらって、共感したり、参考になるところがたくさんありました。最後に全体を振り返って自由に意見交換する時間を取れたら良かったなあ、と思いました～

添付の写真は、お話を書き留めたものです。

□後半のミーティング

～気になってること～ 会の活動を考える

□ 懸案事項

- ・連絡網が無い
- ・「高機能AS部会」という名称では、他地域と差別

化できない。まぎらわしい。

・「自閉症協会奈良支部 高機能 AS 部会さん」って呼び名は長すぎて気軽に呼んでもらいにくい。

・個人のメールアドレスを、窓口にするのに抵抗がある

☐ 決定しました！

日本自閉症協会奈良支部高機能 AS 部会 愛称：「けんけんぱ」独自ドメイン名：kenkenpa.org（よみ：ケンケンパ オルグ）

※ 「org」= organization(組織)の略で「非営利組織」の意として表されるため、これを選びました。

参考：<http://www.nic.ad.jp/ja/dom/types.html>

☐ オフィシャルメールアドレス

今後、外部の方に高機能 AS 部会の連絡先をアナウンスする際には、以下のアドレスをお伝えください。その時に担当している者がご返事します。

info@kenkenpa.org

☐ 会員用 メーリングリスト

高機能 AS 部会の連絡その他に利用できる ML を作成しました。会員の方で、高機能自閉症やアスペルガーに興味のある方なら、どなたでもお入りいただけます！
感心をお持ちの方、まずは雑談に、情報交換にふるって

会もまだ始まったばかり。

子供たちと一緒に、一步一步ゆっくりとあゆんでいきたい。そうして「けんけんぱ」になりました。なんだか気持ちがあほっこりする、素敵な愛称になりました。

また感想など、お寄せください。

～高機能 AS 部会 活動主旨 理念やビジョン！～
現在案出しの段階。

☐ まとめ

今回の部会は、少しユニークなものになりました。テーマと時間を区切った自己紹介は、普段人に言えない打ち明け話をして和みました。（ほんと、本人の目のまえで言えないことは、多々ありますよね (^_^) 中々おもしろい、和やかな時間でしたよ。その後、会の名前を考えるのに、色々な案が飛び出しました。皆様の発想はすごくて、和の会、ほの字の会、グーチョキパーの会、キラキラの会 etc..... 次々と言葉がでてきました。

これからの部会も、私達_____親も心からリラックスできる場・時間であってほしい。心から参加したいと、そう思える場所を皆様で作っていきましょう。次回の参加お待ちしております。

ご参加ください。

ML に登録希望の方は、info@kenkenpa.org までご連絡ください。

ML のアドレス：ml@kenkenpa.org
(ml=mailing list の略)

～「けんけんぱ」愛称の意味～

子供なら誰でもやったことのある、懐かしい遊び「けんけんぱ」。名前の案を出し合っている時、今、ちょうどけんけんぱを教えていると話して下さったお母さんがおられました。けんけんぱはバランスを取るのが難しく、そしてそれが面白さでもある遊び。高機能自閉症・アスペルガー症候群と呼ばれるわたしたちの子どもは、一見単純に見える遊びが高いハードルになることも。楽しいはずの遊びが、楽しくなくなる瞬間……悩んで悩んで最後には、満場一致の拍手で「けんけんぱ」に決まりました。何故って？「けんけんぱ」は、誰もが必ず通る道。私達も小さい頃に、皆で楽しんだ遊びです。

つながっていく未来に。

多くの人にわかってもらいたい、理解してもらいたい。バランスを考えながら、一步一步あゆんで欲しい。楽しい子供時代を過ごし、健やかに育てて欲しい。

進行担当：大竹

書記：梅野・谷口

文：梅野・谷口

：尚、12月担当多忙で企画難のため、お休みになります。（すみません～！）

来月は、心理療法士の波多野先生をお招きして、なにかできたらと考えていま

す。それでは、何かご要望・リクエスト・ご感想などありましたら、

info@kenkenpa.org まで宜しくをお願いします！

順次、またご連絡しますね。



事務局から

WISC・Ⅲ実践練習会

2007年度から本格的に始まった特別支援教育において、子どもたらを理解するために WISC や K-ABC といった心理検査を用いた、個別指導計画作りが重要視されるようになって来ました。これらの検査は、見方の練習が重要です。今回は WISC-Ⅲの検査の学習会を開きますので、この機会に学習をしてみたいか、がでしょうか。

日時：

2007年12月26日(水)午前10時～午後4時場所：奈良県社会福祉総合センター 6階 第3会議室

対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における指導する立場にある人、コーディネーター、関係施設・機関支援員などで WISC・Ⅲを実施経験が無い、あるいは少ない人

定員：20名程度

費用：1人6,000円 奈良アセスメント研究会員は半額 奈良アセスメント研究会には同時入会が可能です。奈良アセスメント研究会へのお問い合わせは、09081249466 平岡まで 申し込み方法：往復はがき

③ 入院給付金は入院2日目からすべて給付します。
〈問い合わせ〉ASJ 互助会事務局
TEL 03-5287-1391 FAX 03-5287-1392
Email asj_@nifty.com 担当 鈴木和子

第14回 奈良 YMCA 発達障がい理解講座「LD・ADHD・高機能自閉等の発達障がい児・者への関わり方」

2007年度より特別支援教育が本格的にスタートして、LD・ADHD・高機能自閉等の発達障がいについての理解とその対処法が、これまで以上に教育現場や家庭に求められています。奈良 YMCA では1997年以来発達障がい児・者へのサポートに取り組み、毎年理解講座を開催して参りました。今回、午前中に大阪医科大学 LD センターの竹田契一先生に家庭・学校でのよい関わり方についてお話し頂き、午後からは全国 LD 親の会副会長の内藤孝子氏に保護者の視点から就労や自立についてお話し頂く予定です。

◆日時 2008年1月27日(日) 10:30～15:30

◆会場 奈良県文化会館小ホール 奈良市登大路町
(近鉄奈良駅徒歩約5分)

◆講師 竹田契一先生 大阪教育大学名誉

に住所、氏名、所属、連絡先電話番号・メール等を記入の上

〒636-0202 奈良県磯城郡川西町結崎 569 (有)結崎アカデミー気付 奈良学習・発達支援センター 前川まで

お問い合わせ先：

電話またはファックスで、奈良学習・発達支援センター前川まで： 電話 0745・44・1717 ファックス 0745・44・1715 主催：奈良アセスメント研究会 後援：奈良県発達障害支援センター(でいあ)、奈良学習・発達支援センター 奈良 LD 研究会、川西町 LD 研究会、日本自閉症協会奈良県支部、奈良 LD 親の会バンジー、えじそんくらぶ奈良ポップコーン)、奈良高機能自閉親の会アスカ、※注意事項：午前8時現在で奈良県下のいずれかの地域で警報が発令されている場合は中止になります。

ASJ 互助会速報！ ～平成20年度からの保障内容改定が決まりました～

- ① 掛金年額 15,600円(月額1,300円)
- ② 一家で2名以上ご加入のとき2人目から半額になります。

教授 大阪医科大学 LD センター
内藤孝子氏 全国 LD 親の会副会長
《プログラム》
10:30～『発達障がいの友達づくり』一家庭・学校での良き関わり方ー竹田契一先生
12:00 休憩
13:00～『就労を見据え、育てておきたい力』ー保護者の立場からー内藤孝子氏
14:40～まとめ 竹田契一先生 15:00～質問への回答 竹田先生・内藤氏
◆定員 先着250名(託児はありません。)
◆参加費 ¥1,000(午前の部又は、午後の部だけの参加の場合も同額です。)
◆申込先 電話で事前予約のうえ当日会場にて参加費をお支払い下さい。
◆主催(財)奈良 YMCA
◆後援 日本 LD 学会 奈良県教育委員会 奈良市 奈良市教育委員会 国際ソロプチミスト奈良

2008年奈良県社会福祉士会公開セミナー『発達障害』への理解～教育・医療・福祉のつながり～
日時：平鹿20年1月14日(月祝) 13時～16時30

分

場所：奈良県文化会館小ホール（近鉄奈良駅より徒歩 5 分）

プログラム①講演「発達障害について」

講師：精神科医 姜昌勲（きょうまさのり）氏

②シンポジウム「発達障害支援における教育・医療・福祉の連携について」シンポジスト中村美和（奈良県教育研究所）・楠本伸枝（ポップコーン）・植田寿之（奈良県福祉士会）の各氏

コーディネーター前川孝士氏（結崎アカデミー）

な らやまオープンセミナー「特別支援教育のゆたかな実現にむけて」第 3 回と第 4 回

会場：奈良教育大学 講堂・大講義室

対象 教育・福祉・医療関係者・一般市民・学生

○第 3 回 12 月 22 日（土）13:30～場所 講堂

講演「自閉症理解の最前線」講師十一元三 氏（京都大学大学院医学研究科教授）

○第 4 回 20 年 1 月 26 日（土）13:30 講堂

講演「特別支援教育のゆたかな実現にむけて - 幼児期から青年期までの実践と課題 -」シンポジウム：コーディネーター岩坂英巳・越野和之（奈良教育大）その他

もご記入下さい）

③郵便番号・住所・電話番号（家庭の固定電話と携帯電話両方お知らせ下さい）

④お子さんの状態、相談したい内容、簡単な生育暦（すべて箇条書きで可）

※お申込は保護者の方からのみとさせていただきます。

※保護者はお子さんを必ず同伴してください。

※お子さんの状況を詳しく知るため学校の先生等にご協力いただくこともあります。

※お申し込みを受け付けた方には、後日案内文書を送付します。

※定員になり次第、受付を締め切らせて頂きます。あらかじめご了承ください。

開催場所：

NHK 大阪放送局（大阪市中央区）内 会議室

問い合わせ・申し込み先

NHK 厚生文化事業団近畿支局

〒540-8501 大阪市中央区大手前 4-1-20

TEL：06-6937-3412

FAX：06-6941-0830

詳細 <http://www.nara-edu.ac.jp/CSNE/07open.pdf>

NHK 厚生文化事業団近畿支局：平成 20 年度「子どもの発達相談会」と「LD 教育相談会」…NHK 厚生文化事業団近畿支局では、言葉の習慣や、漢字が書けない、計算が苦手など、お子様の発達に関してお悩みの方に「こどもの発達相談会」、LD、ADHD、高機能自閉症の幼児期・学童期・青年期のお子さんをお持ちの保護者のために「LD 教育相談会」を年に数回行っています。相談料は無料ですが、事前の申込が必要です。周囲にお悩みの方がいましたら、相談会のことをお知らせください。

◎発達相談会対象年齢：満 3 歳～小学 2 年生まで

開催日（年 4 回）① 20 年 5 月 11 日 ② 20 年 7 月 13 日 ③ 20 年 10 月 12 日 ④ 21 年 2 月 8 日

国教蘭相談会対象年齢：満 3 歳～高校 3 年生まで

開催日（年 4 回）① 20 年 6 月 8 日 ② 20 年 9 月 14 日 ③ 20 年 11 月 9 日 ④ 21 年 2 月 8 日 お申込み方法 封書または FAX にて、下記①～④についてお

送りください。

①お子さんの名前（漢字とふりがな）・生年月日・学年

②保護者の名前（当日同伴の方全員、お子さんとの続柄

第 2 回アメニティーネットワークフォーラム

2008 年 2 月 15 日（金）～17 日（日）大津プリンスホテルを会場に「第 2 回アメニティーネットワークフォーラム」を開催いたします。この催しは、障害のある人本人やその家族が快適で豊かな地域生活を送ることができるように積極的にサービスを提供していくための仕組みづくりを考えようと毎年この時期に開催してきました。支援費制度や障害者自立支援法そして介護保険のあり方にも触れてきました。このフォーラムには、全国から当事者をはじめ、障害者に関わる行政、福祉関係者、保護者を中心として、毎年 1,500 名を超える万々にご参加いただいています。

第 2 回アメニティーネットワークフォーラムの開催要綱とプログラムを同封致しております。今回のフォーラムでは、この国の社会保障をどのような「カタチ」に創っていくのかという問題意識を基本に「障害者自立支援法の抜本的見直し」「発達障害の豊かな世界」「地域の相談支援体制づくり」の 3 つのテーマについて議論を深めたいと企画を練りました。制度の課題を整理し前向きに改革の提案を行うこと、専門性を高めることそれぞれに重要なテーマと考えています。

この場所から、福祉サービスを利用する人たら、その

ことを支えるために働いている人たちに強いエールを送りたいと思います。あわせて今年も同時開催企画として、「びわこアメニティー映画祭 2008」を開催します。選りすぐりの作品をご用意いたしました。あわせてお楽しみください。

アメニティーネットワークフォーラム実行委員会 全国地域生活支援ネットワーク

代表 田中 正博 アメニティーネットワークフォーラム事務局

〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1

TEL 0748-75-8210

FAX 0748-75-8270

■開催期日

2008年(平成20年)2月15日(金)

11時受付開始～17日(日)14時終了予定

■定員1000名 今年のアメニティー・ネットワーク・フォーラムでは、3つのテーマを深めます。共通講義・テーマ別の講義もあります。

テーマ1「障害者自立支援法抜本的見直し」

テーマ2「相談支援・自立支援協議会運営ノウハウ」

テーマ3「発達障害の豊かな世界」

事務局 〒520-3202 滋賀県湖南市西峰町1-1 TEL 0748-75-8210 FAX 0748-75-8270 <http://www.shien-net.org/> で案内

主催：アメニティー・ネットワーク・フォーラム実行委員会、全国地域生活支援ネットワーク共催：滋賀県社会福祉事業団、NPO法人はれたりくもったり後援：滋賀県、滋賀県障害者自立支援協議会 助成：日本財団

次回近畿ブロック会

平成20年3月2日(日)午後

場所：クレオ大阪西 会議室

〒554-0012 大阪市此花区西九条6丁目1番20号

電話 06-6460-7800 Fax 06-6460-9630

内容

- ・理事会報告
- ・20年度NHKハートフォーラム(滋賀県支部担当)
- ・本部定款変更に向けて各支部の対応等
- ・近畿ブロック会会則案
- ・その他



■参加対象

障害者福祉に興味・関心のある方はどなたでも。

■参加費用

ひとり 20,000円(資料代4,000円含む)

※3日間の共通価格です。※事前の資料のみの販売はありません。フォーラム当日・終了後に事務局へおたずねください。

交流会10,000円(2/16(土)夕食:ブッフェ方式) ※希望者のみ 食費・大津プリンスホテルでの宿泊など斡旋あり。申込みが必要

洋室 1人利用17,000円 2人利用9,500円

3人利用7,000円 4人利用6,500円 5人利用7,000円 ※3人～5人利用につきましては、同団体様もしくはご友人同士でお申し込みください。

■お申し込み方法：専用参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX/郵送にてお申し込み下さい申込書がお手元にならない場合は事務局へお問い合わせ下さい。

■申込み締切り

2008年(平成20年)2月9日(土)

※定員になり次第締切り

お問い合わせ・お申し込みは

アメニティー・ネットワーク・フォーラム実行委員会

19年度追補版リソースブックのアンケートと のお願いと挿絵用のイラスト募集

18年度助成事業として「奈良県で暮らす発達障害児・者のために 豊かに暮したい」を作成し、19年度はその追補版として自閉症版の作成を進めています。

19年度の追補版に掲載する内容について 皆様のご意見や思いを取入れた内容にしたい、情報を集めております。

12月号「絆」と同封いたしましたハガキによるアンケートに ご記入の上1月6日までに返信頂けますよう、ご協力よろしくお願い致します。

同時に表紙や挿絵に使用できるようなイラストも募集致します。自閉症の人が書いた絵やイラスト、ご家族や支援者の方の力作などで冊子を完成できますよう よろしくお願ひ致します。

アンケートの問い合わせ先

FAX 0744-33-4755 (上島)

m-ueshima@k2.dion.ne.jp

イラストや絵につきましても 同上の連絡先 又は連絡網の上の役員までお気軽にご連絡いただけますよう よろしくお願ひ致します。

書籍案内依頼

☆…メールを通じてアスペルガー症候群の作家から次の依頼がありました。

奈良自閉症親の会・きずな様

初めまして。新進のフリーライターの水樹まなです。私はアスペルガー症候群（軽度自閉症）の者です。血液型はA B型。私は引きこもりで過ごしています。要するに、職業が「引きこもり作家」です。さて、小説家の端くれである私の著書を紹介します。宣伝のつもりで。題名は「Modest Girl 私、水樹みう」（水樹まな著・新風舎）です。この作品はインターネット上の電子ブック（データを購入するタイプ）で販売しています。例えば、新風舎・パピレスなどで。書店には陳列していません。この作品は2007年の6月に登場したばかりです。

「Modest Girl 私、水樹みう」のあらすじを簡単に説明しましょう。

1987年の春、東京都渋谷区にて――。

主人公・水樹みうは14歳の女の子。性格は地味。華奢な体つき。ヘアスタイルはアンテナ付きのサラサラロングヘア。チャームポイントは口元の黒子。1972年8月生まれ。4月、みうは私立の女子校・早緑女学園の3

「Modest Girl 私、水樹みう」（水樹まな著・新風舎）をご購入ください。この作品をあなた方のご家族やお友達や知人に広く紹介してください。そうしていただくと私と出版元の「新風舎」も幸いです。「Modest Girl 私、水樹みう」のご意見と感想などは出版元の「新風舎」にお願いします。現在、私は次回作「みう 未宇の回想」（仮題）を執筆中です。そちらも電子書籍で販売する予定です。そちらの内容は主人公の水樹未宇が幼稚園の時の友達を回想するストーリーです。今後とも、水樹まなをどうぞよろしくお願いします。それでは、失礼いたします。

差出人 水樹まな 首都圏在住

Eメール mana.archive@gmail.com



年次に編入して来た。初登校の日、校門の近くで、みうは眠そうな顔をしている女の子に出会った。彼女の名前は有賀則子（愛称：ノンちゃん）。それから2日後、則子はみうとクラスが一緒になり、意気投合。みうが初めて則子の家に行った時のこと、則子はみうのそばで居眠りをしていた。目覚めた則子は「みう、何ヶ月かぶりに良い夢を見たよ」「私、毎晩、下らない夢ばかり見ている」と話した。

体育の授業の時、先生とクラスメイトたちは、則子がみうの頬にキスをしかける様子を見て驚く。そして、ふたりはキスをする仲になっていった。みうは保健室の先生から則子の苦い過去を聞く。則子は小学6年生の時から何度も悪い夢に魘されていた。そのせいで、ひとりで寝るのが怖くなっていた。則子はみうのそばで寝ると良い夢を見るに違いないと思うようになる。みうが則子のためにとった行動とは・・・！？水樹みうが繰り広げるほのぼのストーリーアスペルガー症候群の著者が書いた、1972年生まれの子にぜひ喜んでいただきたい作品です。以上です。

検索キーワードはヤフーかGoogleで「新風舎&水樹まな」または「水樹まな」と検索してください。すぐに私の著書のこと分かります。ぜひ、ネット上で私の著書

「かがやき4号」に掲載する絵画・イラスト作品の募集について

日本自閉症協会指導紙『かがやき』が毎年度末に刊行されます。毎号、『かがやき』の表紙、及び裏表紙などには、自閉症の皆さんの絵画作品などを掲載しています。読者の皆さんに大変好評を博しています。以前、奈良県支部の金本崇志（たかゆき）君の絵が採用されていました。現在、出版部では、来年3月に発刊予定の『かがやき4号』を企画しています。今年度も、自閉症の皆さんの作品を表紙等に掲載を予定です。つきましては、自薦、他薦を問いませんが、下記の募集内容で奈良県の自閉症の皆さんの作品をお寄せください。

募集作品：絵画（カラー作品）、イラスト（線画）、書道作品など

締切日：平成19年12月20日

ご応募いただける方は、日本自閉症協会事務局・千代さん宛に、ご一報ください。なお、作品の受け取りに関しては、ご一報をいただいた後、ご相談させていただくとのことです。

電話03-3545-3380（千代さんへ） 以上

平成19年度 赤い羽根共同募金助成金事業

(社)日本自閉症協会奈良県支部 自閉症の理解と支援の為にイベント

NEW YEAR シアター&コンサート

～虹のかなたへ！！はばたけ未来へ！！～

新年はみんなで一緒に歌って！踊って！劇を見て！たのしく迎えましょう！

♪ 劇団 「DEAR DEER - あおによし」 による楽しい劇

♪ 「おひさま広場」のお兄さん、お姉さんの楽しい歌のコンサート

♪ 自閉症児・者による歌や演奏 などなど

たくさんのご来場、お待ちしております！！

日時・平成20年1月5日(土) 11:00～16:00

(開場 10時30分)

場所・やまと郡山城ホール 小ホール

奈良県大和郡山市北郡山町211-3 TEL.0743-54-8000

(近鉄郡山駅より徒歩約7分 JR郡山駅より徒歩約15分)

E-mail ykjh@ykjohall.jp

申し込み不要 入場無料 定員 300名

問い合わせ・・・(社)日本自閉症協会奈良県支部事務局

TEL/FAX 0743-55-2763 (河村)

kawafune@ares.eonet.ne.jp

スケジュール(予定)

10:30～

開場

11:00～12:00

演劇「オズの魔法使い」

劇団DEAR DEER - あおによし

12:00～

休憩(午後の部準備の為ホールを一時閉めます)

13:30～

新年おひさまコンサート(おひさま広場の

おひさまいっばい)

自閉症児・者による演奏など・・・

出演団体紹介

特定非営利活動法人 「DEAR DEER—あおによし」

1997年5月、同じ幼稚園に子供を通わせていた芝居好きの母親が集まってDEAR DEER—あおによし を結成。舞台に向ける子供達のキラキラするまなざしと自分自身を輝かせたいという気持ちを原動力に、演劇を中心に活動をしています。2006年4月にNPO法人になりました。

現在は奈良県を中心に近隣府県で活動しています。子育てサークル、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校、サービスセンターなどからの依頼を受け、演劇公演、お話会などをさせていただいています。毎年依頼してくださる学校、幼稚園も増え、県立高校での社会人講師授業も今年で三年目になりました。

未就学園児対象のおはなし会も毎月無料で開催しています。

主な作品は、「地獄のそうべえ」「たつの子太郎」「泣いた赤鬼」「オズの魔法使い」「みどりのゆび」など古今東西の名作を中心に、母親の思いをこめて作品作りをしています。「演劇を通じて子ども達に夢と感動を！」を合言葉に、身近にある材料を工夫して、脚本、大道具、小道具、衣装、音楽にいたるまで全て手作りです。

結成以来これまでの公演回数は140回を超え、確実に実力アップしています。心のこもったディアディアならではの演劇、演出をぜひ一度ご覧ください。

おひさま広場

～人とのつながりやふれあい・心のかけはしのそんなみんなのひだまりの場所に～

おとなも子どもも障がいのある人もない人もいろんな違いをこえてつながり・ふれあい楽しみながらともに仲間作りをしています。

さまざまな活動の中で命の大切さ、感謝の心・生きることの素晴らしさを感じみんなの心を寄せ合う場所をつくっていきたいです。

おひさまいーっぱい(おひさま広場の活動のひとつ)

地域のイベントや幼稚園、保育所、親子サークル・子供会・施設などからの依頼に応じ、歌を通して人とふれあう喜びを伝える「おひさまコンサート」活動。てあそび・つながりうたあそび・童謡・ダンス・手話ソング・音楽あそびなどを歌って踊って心もからだもぽっかぽかになる「おひさまコンサート」を届けています。舞台と会場が一体となって笑顔があふれるあたたかい空間をめざしています。心あたたまる歌にあふれる思いをこめて手話とともにみんなの心に届け、心のかけはしができたらいいなと思っています。

～みんなで 心 をつなげよう～

平成 19 年度中和圏域障害者地域生活支援スキルアップ研修

「受講申込書」(FAX 送信書)

下記の通り、受講を申し込みます。

奈良県福祉部障害福祉課長 殿

平成 19 年 月 日

< 受講申込者 氏名 >	
(生年月日) 年 月 日生	
< 所属団体(法人)名等 >	
< 施設・事業所名 >	
< 施設・事業所の所在地 >	
〒	
< TEL > _____	
< FAX > _____	
< E-mail > _____	
< 実務経験・年数 > 例：○ ○ デイサービス事業所(直接支援) 年 ヶ月 □ □ 生活支援センター(相談支援業務) 年 ○ ヶ月	
(平成 19 年 12 月現在)	
< 国家資格等 > 例：介護福祉士・保育士(平成 19 年 12 月現在)	
障害者ケアマネジメント従事者研修(初級)受講終了年月日：平成 年 月 日 (相談支援従事者初任者研修、現任研修：平成 年 月 日)	
< 車いすをご使用の場合、いずれかに○印を記入してください >	
車いす ・ 電動車いす	
< 手話、要約筆記等が必要な場合は、いずれかに○印を記入してください >	
手話通訳 ・ 要約筆記 ・ その他 ()	

担当：奈良県福祉部障害福祉課地域生活支援係 赤星
 住 所：〒630-8501 奈良市登大路町30
 TEL：0742-27-8513
 FAX：0742-22-1814

平成19年度中和圏域障害者地域生活支援スキルアップ研修

実施要領

主催：奈良県・奈良県自立支援協議会

共催：帝塚山大学

研修項目：「発達障害者の理解と支援(仮題)」

研修目的：この研修では、「ニーズを抱えておられる方」への支援について、福祉専門職としての知識・技術を深めるとともに、各機関がどのような活動をしているのかを知り・理解することを目的としている。今回は発達障害者の支援について、その障害特性や支援の実際を学ぶ。

対象者：市町村委託または指定相談支援事業者・市町村行政職員・施設職員等
100名を予定(左から順に優先)

開催日時：平成19年12月11日(火)13:30～17:00

開催場所：大和高田市立総合福祉会館 3階会議室

大和高田市池田418-1(TEL0745-23-0789)

研修カリキュラム

時間	内容	講師
13:30～ 15:20 (90分)	講演：～発達障害者の理解から支援へ(仮題)～ 発達障害者支援を、「本人支援」「家族支援」「支援者支援」の3つの角度から捉えなおし、相談支援に関係する者としてそれぞれどのように支援するべきかを考える。 ・障害概念の整理(発達・知的・精神・身体) ・具体的支援 本人支援：本人が求める具体的支援 家族支援：生活のほとんどを支える支援 「家族」という立場での支援の難しさ 支援者支援：支援者にどう支援するか？ (スーパーバイズ) 連携の必要性・効果	丸橋裕之先生 (日本自閉症協会研究部員・大阪教育大学非常勤講師・医師)
(20分)	質疑応答	
10分	休憩	
15:30～ 17:00 (60分)	講演：～「でいあ～」の機能と役割について(仮題)～ 発達障害支援センターの機能を紹介し、市町村相談支援事業者や市町村行政・各種施設との連携や役割分担について	発達障害支援センター「でいあ～」
(30分)	質疑応答：「関係機関との役割分担について」 (各機関の機能の整理と分担)	

2007年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「自閉症児者の自立生活・就労支援事業」
第5回自閉症理解講座のご案内

日時 平成20年 2月23日 (土)

講演 10:00~16:30 (受付 9:30~)

午前 10:00~12:00

「あなた(親・保育士・教師・支援者)が変わると子どももかわる
~ペアレント・トレーニングについて~」

岩坂 英巳氏 (奈良教育大学 特別支援教育研究センター)

午後 「自閉症の兄弟への支援」

13:00~14:20

自閉症の人の兄弟から!

14:30~16:30

姜 昌勲氏 (きょうこころのクリニック)

場 所 やまと郡山城ホール 奈良県大和郡山市北郡山町211番地の3
レセプションホール TEL0743-54-8000 E-mail:ykjh@ykjohall.jp
定 員 120人 参加費 500円(資料代のみ)
申し込み 不要(当日直接 会場へお越し下さい)

岩坂 英巳(いわさか ひでみ)先生

- ・ 精神科医師
- ・ 奈良県立医科大学卒。同医科大精神医学教室在籍中に、カルフォルニア大学ロサンゼルス校児童精神科に留学し、ペアレント・トレーニングやソーシャル・スキル・トレーニングを学ぶ。奈良県心身障害者リハビリテーション精神科医長などを経て平成16年から奈良教育大学教育臨床教授。

姜 昌勲(きょう まさのり)先生 クリニックHP <http://www.kyoclinic.jp/>

- ・ きょうこころのクリニック院長 精神保健指定医、臨床心理士
- ・ 奈良県立医科大学卒、専門研究領域：小児・児童青年精神医学 臨床精神医学
- ・ 厚生労働省「注意欠陥・多動性障害の総合的評価と臨床的実証研究」にて、研究協力員としてAD/HDの診断・治療ガイドライン作成に携わる。
- ・ 診療理念：「様々なお悩みをかかえて訪れた方にとって、“不安が晴れる”場所であること、そしてお帰りの際には“こころの支え”をお持ち帰りいただくことを、常に心がけています。」

ペアレント・トレーニング 「AD/HDのペアレント・トレーニング ガイドブック」から

Q:「ペアレント・トレーニングは、AD/HDをもつ子の親だけでなくも活用できるでしょうか？」

A:「ペアレント・トレーニング(以後PTと略)で学ぶ子育てのスキルは、**障害をもたない**、あるいは**AD/HD以外の障害**をもつ子どもへの適応が可能です。その理由は、PTの基礎となっている学習理論や行動変容理論は、一般の子どもや大人が望ましい行動を習得し、あるいは望ましくない行動を断ち切る、心理的なメカニズムを解明しているからです。そのメカニズムは、対象が誰であれ普遍的で、とくに肯定的な注目は、よい行動を維持する特效薬だといえます。難しい理屈を引き合いに出さなくても、ほめられれば誰でも気分が良くなり、ほめられたことをまたやろうとするのは、経験からも明らかではないでしょうか。」

Q:「PTは、幼児にも思春期の子どもにも有効でしょうか？」

A:「肯定的な注目をどのように習慣化し、子育てのなかで利用するかPTの骨子になっています。その考えは、PTの最適年齢である幼児期後期から、学童期中期の子どもを超えて、**幼児期でも思春期でもどんな年齢でも有効**です。とくに第一次や第二次反抗期の子どもをもつ親は、子どもの反抗に悩み自信を失いがちです。子どものかんしゃくに負け、子育てを苦痛に感じている親、子どもとの言い争いに疲れきって、親の役割を投げ出したいくなる親、どの親もこのPTで学ぶ肯定的な注目の与え方を用いることで、親子関係を修正し、親子ともに自信を回復することができます。

問い合わせ FAX 0744-33-4755 e-mail m-ueshima@k2.dion.ne.jp